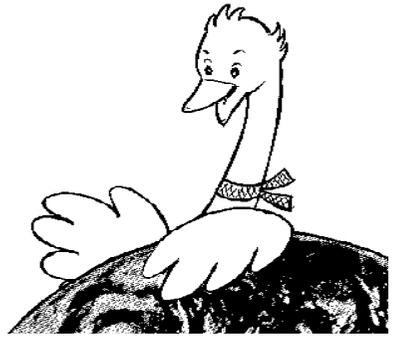


快適地球のつくりかた

いつもロハスで… 17



チームマイナス6%の危機
「おばさん“チームマイナス6%”って聞いたことある？」いつものようにネコおばさんちに立ち寄って、地球温暖化の話をしてきた時のことだった。「え？どんなスポーツなの。」「いや、スポーツチームじゃないよ。チームマイナス6%というのは、地球温暖化の原因になる温室効果ガスを抑えるための、政府が主導するプロジェクト名なんだ。2005年に発効した京都議定書では、2008～2012年の間に日本はCO2排出量を1990年に比べて6%減らすと義務づけたんだよ。チームマイナス6%はこの目標を達成するために立ち上げられたんだ。日本が6%減の目標を実現するには、CO2を各家庭で年間約3,700万トン、オフィス等で年間約7,300万トン減らす必要があるんだ。これは実現可能な数字で、みんなのライフスタイルを見直せば、達成できるといわれていたんだ。現在、国民1人あたりが排出するCO2量は、1日平均で約6kg、1kg分のCO2はサッカーボール100個分の体積に相当するんだ。ぼくも実はこのチームのメンバーに登録しているんだよ。」

そういうとにわかにおばさんの瞳が活気づいた。「あら、キャナル君が？どんなことを実際にするの？」という。「冷暖房の温度設

定・節水・エコ製品・アイドリングストップ・缶過剰包装・節電、出来るところから始めればいいよ。…そうだ、そろそろ年末だし大掃除の季節じゃない。家庭の消費電力は、エアコン、冷蔵庫、照明が3大なんだ。まずこの3つの掃除をしっかりとすることで、電気の無駄使いを少なくできるし、新しい器具に買い換えるなら、省エネタイプがいいよね。節水や過剰包装を断るというのは、もうおばさんはすでに実行していることだし。それに加えて“温暖化防止便利ツール”というのがあるんだ。これはパソコンでチームマイナス6%のHPから利用できるんだけど、たとえば“CO2駅すばあと”や“エコシュミレーター”なんてのがあるんだ。CO2駅すばあととは目的地までのルート・運賃・所要時間の経路を探索するソフトなんだけど、環境を考慮したCO2排出量順の探索ができるんだよ。ぼくも知らない街に行く時によく利用してるよ。エコシュミレーターというのは、現在使っているエアコンや冷蔵庫と新しいエコ製品を比較して、年間の消費電力量、電気代がいくら節約できるか、CO2排出量がどのくらい減らせるのかを診断できるソフトで、試してみると面白いよ。日常のちょっとした心がけが積み重なって、日本全体で大きな削減になるはずなんだ。でも…」ぼくはちょっといいよんだ。おばさんは心配そうに「…うまくいってないの？」という。「…今はマイ

ナス6%どころかプラスに増え続けているよ。運輸部門や家庭からの排出量が増え、産業部門が効率化・省エネを進めても中々追いつかないんだ。一般家庭の電力消費が、1990年には平均252kWhだったのが2000年には303kWhになってしまった。特にエアコンの電力消費が著しいんだよ。…唯一の救いは、2000年以降はほとんど家庭の電力消費量が増えていないんだ。これは、2008年の約束の期限が近づいてきて、家庭でも省エネの大切さが浸透してきたからだと思うよ。だけど、過去の二度の石油ショックの時には、日本全体で劇的に消費エネルギー量が減っているんだよ。まだみんな、まだ大丈夫だとタカをくくっている人が多いんじゃないかな。もしCO2排出量が約束の上限を超える場合は、外国で余ったCO2排出枠を税金で買うしかないし、実際に政府は2012年までに計1億トン分の排出権を買う計画を立てているんだ。欧州の取引市場で排出権は1トン＝15ユーロ前後で売買されているから、排出量削減が進まなければ、1000億円くらいの支出が毎年必要になるんだ。まさに税金の無駄使いだよ。みんなが本当に自覚しないと、もっと暮らしにくい日本になってしまう、そうならないようにぼくは努力していきたいよ。」といった。 つづく
※ チームマイナス6% <http://www.team-6.jp/index.html>

